

ICT時代・アフターコロナ時代の 港湾とロジスティクス

- 13:30~14:00 受付
- 14:00~14:10 主催者挨拶
戸田 圭一 (京都大学経営管理大学院 院長)
山縣 宣彦 (一般財団法人 みなと総合研究財団 理事長)
- 14:10~15:00 基調講演「激動のアジアロジスティクス・貿易とアフターコロナ時代の港湾・ロジスティクス」
小林 潔司 (京都大学名誉教授・経営管理大学院特任教授)
- 15:00~15:15 休憩・換気
- 15:15~15:35 港湾物流高度化寄附講座の活動方向
「ICT時代のロジスティクス・港湾施設整備に向けて」
宮島 正悟 (港湾物流高度化寄附講座 特定教授)
- 15:35~15:55 港湾物流高度化寄附講座での活動
「アジア主要港の動向と、日本の技術体系や技術基準の国際化・海外展開」
宮田 正史 (港湾物流高度化寄附講座 客員教授)
(国土技術政策総合研究所 港湾研究部 港湾施設研究室長)
- 15:55~16:10 休憩・換気
- 16:10~16:30 前 港湾物流高度化寄附講座の活動報告
「アジア物流を支える港湾・海運に関わるデータ・分析・予測など」
渡部 富博 (港湾物流高度化寄附講座 特命教授)
(国土技術政策総合研究所 港湾研究部長)
- 16:30~16:40 閉会にあたって
山田 忠史 (京都大学経営管理大学院 教授)
高橋 重雄 (一般財団法人 沿岸技術研究センター理事長)

入場無料
要申し込み
締切
11月16日(月)

2020

場 所

11.25 wed

14:00 ▶ 16:40

(受付 13:30▶14:00)

サピアタワー
ステーションコンファレンス東京 5階

千代田区丸の内 1-7-12

※当日は、セミナーの状況をオンラインでも配信予定です。

港湾物流高度化寄附講座セミナー ICT時代・アフターコロナ時代の港湾とロジスティクス

京都大学経営管理大学院の港湾物流高度化寄附講座では、2020年7月からの3年間、ICT時代・アフターコロナ時代の港湾物流や港湾インフラ整備のあり方について理論と実務の両面から研究をしていきます。

セミナーでは、講座の研究テーマを取り巻く状況や方向性などについてご紹介をするとともに、アジアロジスティクスについて研究を進めた前 港湾物流高度化寄附講座の成果概要も併せて報告をします。

講演者



小林 潔司

京都大学名誉教授・経営管理大学院 特任教授

京都大学大学院工学研究科修士課程修了。工学博士。京都大学助手、鳥取大学助教授、教授、京都大学教授を経て、現職。国土交通省国土審議会、社会資本整備審議会、交通政策審議会等委員、土木学会会長、米国土木学会副編集委員長、応用地域学会会長、グローバルビジネス学会理事、日本学術会議会員、日本アセットマネジメント協会会長、IIASA、OECD、WB研究員などに就任。



宮島 正悟

港湾物流高度化寄附講座 特定教授

九州大学大学院(修士課程)修了。運輸省港湾技術研究所、関西国際空港(株)、国土交通省港湾局、地方整備局(中部、近畿、四国)、国土技術政策総合研究所、総合政策局等を経て現職。



宮田 正史

港湾物流高度化寄附講座 客員教授(国土技術政策総合研究所 港湾研究部 港湾施設研究室長)

東京工業大学大学院修了。博士(工学)。運輸省港湾技術研究所、国土交通省関東地方整備局、港湾局、国土技術政策総合研究所等を経て現職。



渡部 富博

港湾物流高度化寄附講座 特命教授(国土技術政策総合研究所 港湾研究部長)

東京工業大学大学院修了。博士(工学)。運輸省港湾技術研究所、国土交通省港湾局、京都大学経営管理大学院 特定教授等を経て2020年より現職。

※当日は、セミナーの状況をオンラインでも配信予定です。

会場

サピアタワー ステーションコンファレンス東京 5階

アクセス

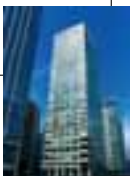
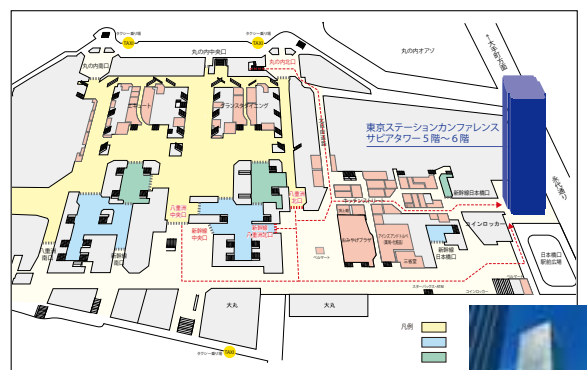
- ・JR東京駅日本橋口すぐ
- ・新幹線八重洲北口改札徒歩2分
- ・東京メトロ東西線大手町駅B7出口すぐ

申し込み

所属・役職・お名前・メールアドレス・参加方法(会場参加orオンライン(zoom)参加のいずれを希望されるか)を記載の上、下記問い合わせ先のメールアドレス宛お申し込みください。

申し込み期限 11月16日(月)

※ソーシャルディスタンス対応のため会場参加人数が限られており、会場参加ご希望の場合でもオンライン参加をお願いする場合があります。あらかじめご了承ください。



問い合わせ先

京都大学経営管理大学院 港湾物流高度化寄附講座

電話 075-753-5104 E-mail: ipl2020@mail2.adm.kyoto-u.ac.jp ("ipl"はアイ・ピー・エル、"2020"は数字)